



# 九電グループサステナビリティ報告書2020

SUSTAINABILITY REPORT 2020



## 編集方針

### 皆さまとの信頼関係を強固にしていくため、サステナビリティ報告書を発行しています。

九電グループは、九電グループの思い「ずっと先まで、明るくしたい。」を実現し、社会の持続的な発展に貢献していくため、企業活動が社会に与える影響に配慮するだけでなく、皆さまのご期待・ご要請をお聴きし、地域・社会の課題解決に貢献するCSRの取組みを推進しています。

ステークホルダーの皆さまに、九電グループのCSRの取組みをお伝えし、皆さまの声を事業運営に反映していくため、サステナビリティ報告書を発行しています。

### 九電グループにおける「CSR重要課題」テーマ毎に取組みを掲載しています

2019年度、九電グループでは、幅広い社会的課題の中からステークホルダーの期待が特に高いものを「CSR重要課題」として特定しました。

本報告書は、複数の近い「CSR重要課題」を括ったテーマ毎に、取組み状況等について掲載しています。

1. 気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります。
2. エネルギー・インフラで、皆さまの暮らし・経済を支えます。
3. 地域の皆さまとともに、地域社会を元気にします。
4. 従業員のチャレンジを促し、組織基盤を強化します。

### 「CSR報告書」と「環境報告書」を統合し、「持続可能な社会の実現」に向けた取組みをよりわかりやすくお知らせしています

2018年度まで、「CSR報告書」と「環境報告書」の2種類の報告書を発行してきました。

2019年度から、持続可能な社会を実現するための重要な取組みの1つである「環境」への対応について、他のCSRの取組みと一体的にお知らせし、同社会の実現に向けた道筋をより明確にお示しするため、両報告書を統合して発行しています。

#### 報告範囲

九州電力(株)及びグループ会社

#### 報告期間

2019年4月1日～2020年3月31日  
(一部対象期間外の情報も掲載しています)

#### 発行時期

2020年6月(前回:2019年6月/次回:2021年6月予定)

#### 参考としたガイドライン

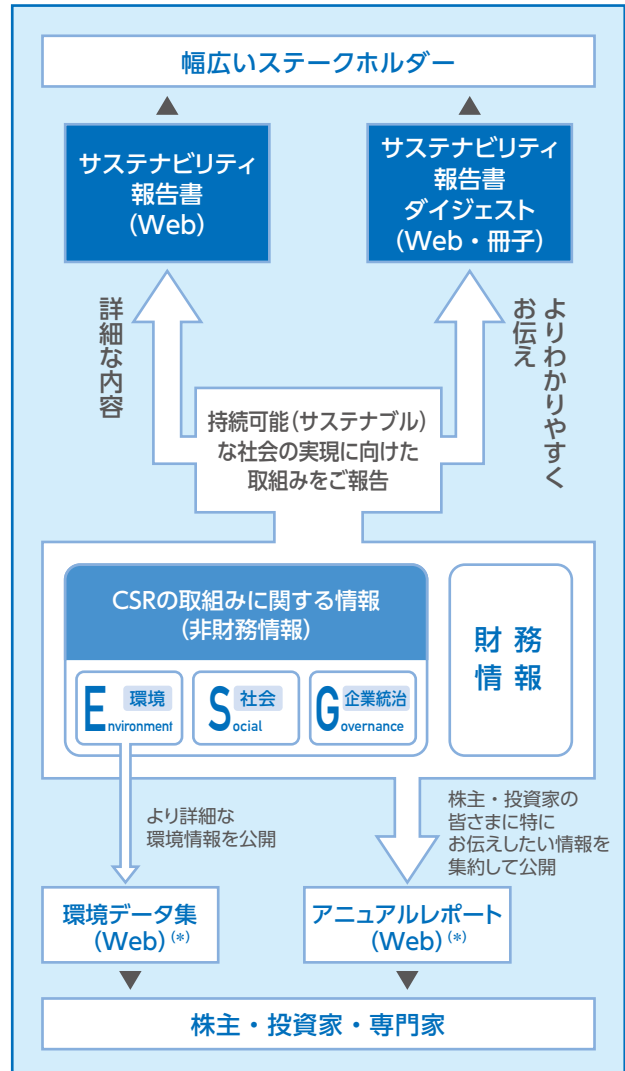
GRIガイドライン(スタンダード)

#### □ 免責事項

本報告書には、九州電力(株)及びグループ会社の過去と現在の事実だけでなく、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

### 情報量・内容に応じて2種類の媒体を発行しています

九電グループのCSRの取組み全般の詳細内容を掲載した「サステナビリティ報告書」、CSRの取組みのトピックスを掲載した「サステナビリティ報告書ダイジェスト」の2種類を発行しています。



(\*)2020年8月公開予定

#### □ 留意事項

2020年4月1日より九州電力(株)の送配電部門は九州電力送配電(株)として分社しています。

九州電力送配電(株)の中立性を明確にする観点から、同社単独の取組み等については、実施主体(主語)を明記しています。

ただし、2020年3月31日までの実績値については、分社前の九州電力(株)の実績として記載しています。

### CSR(Corporate Social Responsibility)とは…

「企業の社会的責任」と訳され、企業の活動が及ぼす、社会や環境への影響に対して、透明かつ倫理的な行動を通じて担う責任と説明されています。

企業は利益の追求のみならず、地球環境やお客さま、地域・社会等にも配慮した企業活動を行う必要があるという考え方です。

# 目次 | CONTENTS

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 編集方針                               | 1  |
| 目次                                 | 2  |
| トップコミットメント                         | 3  |
| 経営理念                               | 4  |
| 九電グループ経営ビジョン2030                   | 5  |
| お客さまに電気をお届けするまで(事業概要)              | 7  |
| 九電グループのCSR                         | 9  |
| CSR重要課題の特定                         | 9  |
| CSR取組みの改善・充実に向けたマネジメント             | 11 |
| 九電グループCSR憲章                        | 14 |
| 持続可能な社会の実現に向けたCSR取組み<br>(価値創造プロセス) | 15 |

## 【地球環境】

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 🌿 気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります。— 17       |    |
| ① 再生可能エネルギーや原子力の活用などを通じた電源の低・脱炭素化   | 20 |
| ② オール電化やEVの普及などを通じた電化の推進            | 29 |
| ③ 海外における持続可能な社会づくりへの貢献              | 31 |
| ④ 地域と一体となった環境保全活動、環境教育などを通じた環境意識の啓発 | 33 |
| ⑤ 設備などの管理における環境への配慮                 | 36 |

## 【経済基盤】

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 🏢 エネルギー・インフラで、皆さまの暮らし・経済を支えます。— 39 |    |
| ① 海外の多様な調達先からの安定した燃料の確保と電源開発計画     | 41 |
| ② 原子力発電所の安全性・信頼性向上                 | 43 |
| ③ 持続的な安定供給に向けた設備の形成                | 53 |
| ④ 災害時の被害を低減する地域レジリエンス(強靱性)の向上      | 54 |
| ⑤ お客さまのニーズ・課題を踏まえた商品・サービスの提供       | 58 |

## 【地域社会】

|  |    |
|--|----|
| 👥 地域の皆さまとともに、地域社会を元気にします。— 67          |    |
| ① 地場産業の活用や交流人口の拡大などを通じた地域の活性化          | 69 |
| ② 地域と一体となった次世代育成の支援、お年寄りにもやさしい社会づくり    | 73 |
| 特集 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う<br>影響を踏まえた様々な取組み | 75 |

## 【人材・組織】

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 👤 従業員のチャレンジを促し、組織基盤を強化します。— 77   |    |
| ① 九電グループ全体でのイノベーションの創出           | 79 |
| ② 性別や年齢を問わず多様な人材の活躍を促すダイバーシティの推進 | 81 |
| ③ 働き方改革などを通じた働きがいのある職場づくり        | 88 |
| ④ コーポレート・ガバナンスの充実を通じた企業価値の向上     | 91 |

|                  |     |
|------------------|-----|
| 事業活動の基盤となる取組み    | 95  |
| ① コミュニケーションと情報発信 | 96  |
| ② 安全の追求          | 104 |
| ③ 情報セキュリティの推進    | 108 |
| ④ 環境経営の推進        | 110 |
| ⑤ 誠実で公正な事業運営     | 115 |

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 組織プロフィール          | 121 |
| 九州電力(株)の概要・電力供給設備 | 121 |
| 財務・非財務ハイライト       | 122 |
| 組織図               | 125 |
| グループ会社一覧          | 127 |
| 主要事業所             | 128 |

|         |  |
|---------|--|
| 用語集(巻末) |  |
|---------|--|

## SDGsへの対応

九電グループは、CSRの取組みを通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

### SDGs(Sustainable Development Goals)

2015年に国連サミットで採択された、国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、2030年を期限とする17の目標で構成されています。



本文中、左記マークがある項目は、ホームページに詳細な情報を掲載しています。



用語集に解説がある言葉は、各ページの下に表示しています。